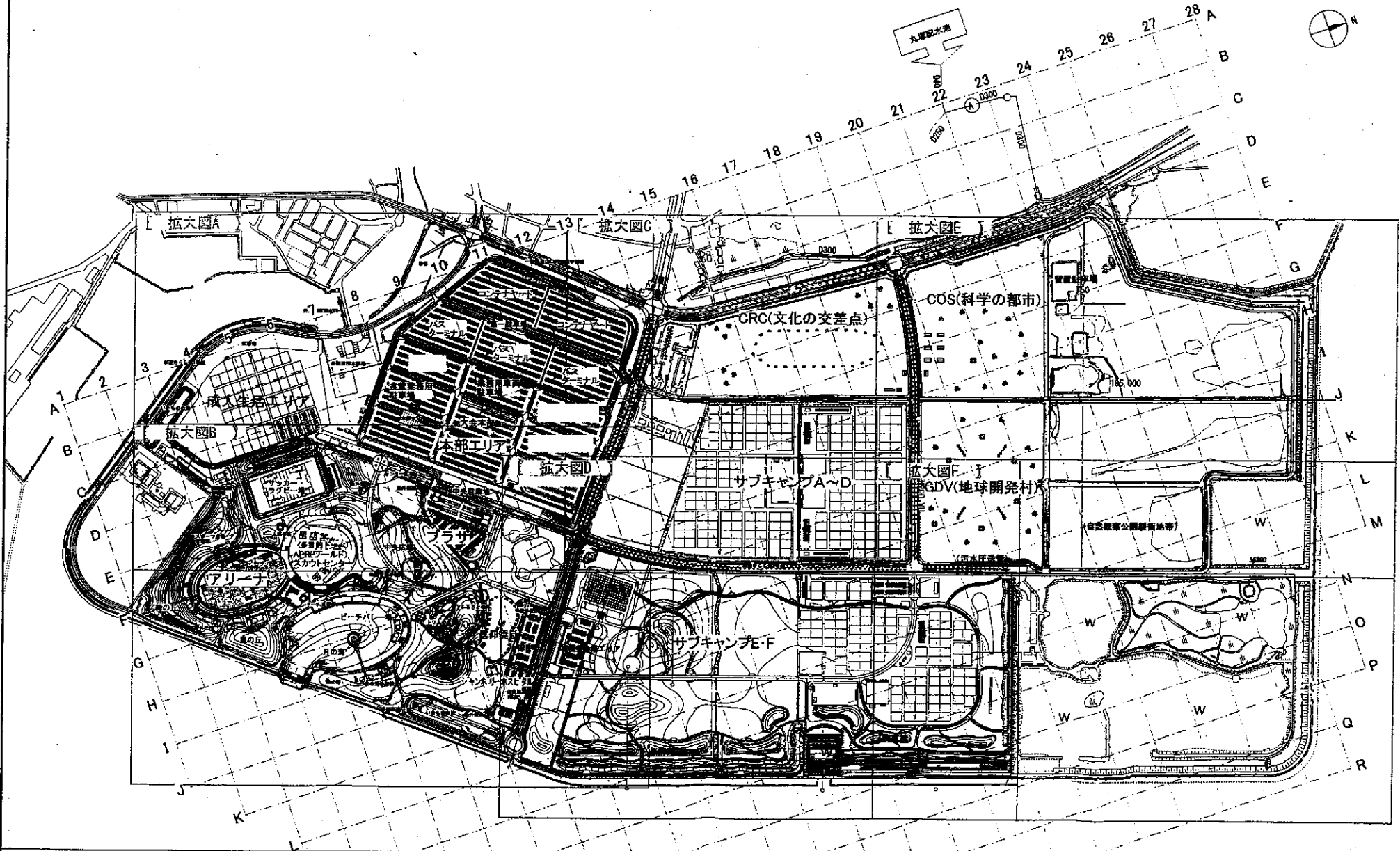
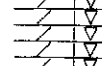


16NJ会場利用計画図(案) (2012.07.03 現在)

資料:6-1



TSP TOTAL SPACE PRODUCTION CO., LTD.
TSP太陽株式会社
一級建築士事務所



| | | | | | |
|----|------|--------------|-----------|---------------|------|
| 承認 | 物件名称 | 第16回日本ジャンボリー | 工事名称 | 縮尺 | 図面番号 |
| | 棟図 | 総図 | 図面名称 | S=1/8000 (A3) | A-21 |
| | | | 施設配置図 全体図 | | |

縮尺 S=1/8000 (A3)
図面番号 A-21

図面名称 施設配置図 全体図

縮尺 S=1/8000 (A3)
図面番号 A-21

2012.07.03

※配置については今後の協議により変更されます。

第16回日本ジャンボリー(16NJ) 会場利用計画と設備配置計画の概要(案)

(平成24年7月17日現在)

1. 会場利用計画の区分

(1) 生活地域(サブキャンプ・ハブ)の区分

参加者の生活地域として約2,000人規模のサブキャンプを設け、参加者のサブキャンプをきらら浜の「民間活用エリア」、「公園エリア(防災公園)」、「利用調整エリア」(23WSJのみ利用)に、大会運営スタッフのための成人サブキャンプを「多目的グラウンド」に区分して利用します。

| | 参加者生活地域 | | 成人生活地域 | |
|-------|---------|-----------------|--------|---------------|
| | ハブ | サブキャンプ | ハブ | サブキャンプ |
| 16NJ | 2か所 | 6か所(各2,000人規模) | 1か所 | 1か所(2,400人規模) |
| 23WSJ | 3か所 | 12か所(各2,000人規模) | 1か所 | 1か所(6,000人規模) |

(16NJで使用するサブキャンプの案)

| ハブ (仮称) | サブキャンプ (仮称) | 暫定数 | | 16NJ計画案 | |
|-------------------------------|----------------|-----|--------|---------|---------------|
| | | 隊数 | 人数 | 隊数 | 人数 |
| α(約17ha) 民間活用エリア | A | 53 | 2,120 | 50 | 2,000 |
| | B | 50 | 2,000 | 50 | 2,000 |
| | C | 56 | 2,240 | 50 | 2,000 |
| | D | 50 | 2,000 | 50 | 2,000 |
| β(約19.3ha) 公園エリア (防災公園) | E | 56 | 2,240 | 60~65 | 2,400~2,600 |
| | F | 59 | 2,360 | 60~65 | 2,400~2,600 |
| | G | 44 | 1,760 | | |
| | H | 45 | 1,800 | | |
| γ(約18.5ha) 利用調整エリア | I | 50 | 2,000 | | |
| | J | 53 | 2,120 | | |
| | K | 46 | 1,840 | | |
| | L | 51 | 2,040 | | |
| 計 | 12か所 | 613 | 24,520 | 320~330 | 12,800~13,200 |

| | | | | |
|-----------------------|----|----|-------------|------------------|
| δ(約6.5ha) 多目的グラウンド | 成人 | 73 | 2,920~5,840 | 1区画(500㎡)に40~80人 |
|-----------------------|----|----|-------------|------------------|

参加隊のキャンプ地は、1に隊に対して約500㎡(約150坪)を基準として割り当て、サブキャンプ内の通路を4~5m幅で計画しています。また、23WSJのサブキャンプ運営をリハーサルするため、特定のサブキャンプに外国派遣団をまとめて配置します。

成人サブキャンプは、40人に対して約500㎡(約150坪)を基準(15NJの1.8倍)として、各派遣団に割り当てます。各派遣団は、大会運営スタッフ(派遣団本部要員、IST、JDT他)の生活を管理します。

(2) 生活地域(サブキャンプ・ハブ)の設備・機能

各サブキャンプには、参加者を支援するスタッフの「事務所」、指導者と打ち合わせを行う「会議所」、食材料の「配給所」を設置し、運営に必要な電力と通信設備を供給します。また、各サブキャンプには参加者が集う広場(約50m×50m)とプログラムテント等を設置します。

| 使用目的 | 予定面積 | 予定数量 | 電源・照明 | 通信 | 成人サブキャンプ |
|---------|-------|------|-------|----|----------|
| 事務所用 | 約50㎡ | 1 | ○ | ○ | ○ |
| 会議所用 | 約100㎡ | 1 | ○ | × | ○ |
| 配給所・倉庫用 | 約70㎡ | 1 | ○ | × | × |
| プログラム用 | 約70㎡ | 1 | × | × | × |

生活に必要なトイレ、シャワー等の給排水設備については、サブキャンプ2つに対して1か所に設置し、約4,000人に対応します。

複数の参加者サブキャンプを集め、ハブ（仮称）を構成します。各ハブには、ハブ広場、救護所や売店、インターネットカフェ等を設置する予定です。また、成人ハブには、大会運営スタッフに給食を提供する本部食堂を設置します。

(3) アリーナ地域

開会式・閉会式、アリーナショー、デイビジターショー等を実施するアリーナとして、きらら博記念公園のスポーツ広場を利用する予定です。アリーナには、演技に必要なステージ、音響、照明設備等を設置します。

(4) プログラム地域

場内プログラムを実施するプログラム地域を「民間活用エリア」と「利用調整エリア」に設け、地球開発村（GDV）、文化の交差点（CRC）、科学の都市（COS）の各プログラムに応じて3つに区分して利用します。各プログラムには、本部機能の事務所テントと展示等を行うブーステント（各自設営）を設置します。

信仰奨励エリアは、きらら博記念公園の休憩広場を利用する予定です。本部機能の事務所テントと展示等を行うブーステント（各自設営）は信仰奨励も同様とします。

ワールド（APR）センターは、多目的ドームのフィールドを利用し、各派遣団の展示等のためにパーテーションで区切ります。また、各派遣団の事務スペースと会議スペースを検討します。

(5) 売店地域

きらら博記念公園の中央駐車場に次の売店と食堂を設置する予定です。

- 大会記念品等を扱うスカウト用品売店
- 参加者の生活に必要な生活雑貨や飲料等の日用品、郵便や宅配等のサービス、地元物産品等を扱う一般売店
- 見学者に向けた軽食や弁当等を扱う一般食堂
- 外国派遣団によるフードハウス

(6) 大会本部地域

大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えたテント群による大会本部地域を第1駐車場に設けます。

ジャンボリーホスピタル（中央救護所）については、きらら博記念公園の休憩広場にある休憩棟を利用する予定です。

レセプションエリアについては、多目的ドーム内のセミナールーム等で調整します。

(7) 駐車場地域

第1駐車場には、参加者を受け付けるウェルカムセンター、場外プログラムのバス発着を行うバスターミナル（3区画）の他、見学者（3区画）や来賓、業務用車両（1区画）、留置車両（1区画）等の用途に応じた駐車場を設けます。また、大会の前後では派遣団のコンテナを一時集積するコンテナヤード（3区画）としても利用します。

2. 設備配置計画

(1) 給水設備

参加者は、飲料水、調理用、トイレ、シャワー等のために、一人あたり日量約 750ℓの水を利用します。山口市の水道水を供給元として、会場内に仮設配管（地上コロガシ）にて各地域へ供給します。

日量として16NJでは約1,200㎥、23WSJでは約2,250㎥が必要となり、次のか所に供給します。時間あたり200㎥を最大とすることから、各所への供給も約22.22㎥を最大で計画し、毎時の供給量が不足する場合には20～40tの貯水槽を設置して調整します。

生活地域以外では既存施設の給水設備も利用し、万が一の断水等に備えて自衛隊の給水トレーラー（1t）での対応を依頼する予定です。

【給水か所】

| | 参加者サブキャンプ | 成人サブキャンプ | 本部食堂 | 計 |
|-------|--------------|----------------|----------------|-----|
| 16NJ | 3か所（各4千人に対応） | 1か所（2,400人に対応） | 1か所（2,400人に対応） | 5か所 |
| 23WSJ | 6か所（各4千人に対応） | 2か所（各3千人に対応） | 1か所（6千人に対応） | 9か所 |

【水道設備の数量・案】

| 器具 | 1か所あたり数量 | 16NJ総量 | 23WSJ総量 |
|--------|----------|--------|---------|
| 水汲み場 | 12口 | 48口 | 100口 |
| シャワー | 48口 | 192口 | 384口 |
| 洗面所 | 24口 | 96口 | 192口 |
| トイレ | 48穴 | 240穴 | 480穴 |
| 多目的トイレ | 1穴 | 5穴 | 9穴 |
| 手洗い | 8口 | 40口 | 80口 |
| 汚水枡 | 1～2口 | 5～10口 | 9～18口 |

※本部食堂の厨房設備、駐車場・プログラム地域のトイレ等を含まない

(2) 排水設備

各生活地域で排出される生活雑排水（主にシャワー排水）については、処理方法を調整中です。し尿についても水洗化をめざし処理方法を調整中です。

参加者の調理で排出される汚水は、各サブキャンプのシャワー等設備付近に汚水枡を設置して、仮設配管に接続する予定です。

(3) 電気設備

給排水ポンプ等の動力電源と、大会本部地域ならびに各生活地域の本部等の電灯・電源のために、会場内各所に発電機を設置して電力を供給します。

参加者のキャンプサイトには、電力供給はありませんが、ハブもしくはサブキャンプでの充電サービスを検討しています。

(4) 通信設備

大会本部各部と生活地域の連絡手段や、参加者への情報伝達手段として、会場内に通信網を構築します。一般的な携帯電話やWifi等の接続状況を確認しながら、通信事業者と調整していきます。

3. 会場利用計画一覧

| 区分 | 施設・用地名称 | 大会用途・名称 (一部仮称を含む) | グリッド | 利用概要 構築物・工事概要 |
|-------------------|---------------------|----------------------|-----------|--------------------------------------|
| 駐車場エリア | 第1駐車場 | 大会本部 | D9 | 部署別の本部機能、倉庫 |
| | | 本部食堂 | C8 | 大会運営スタッフ 約2,400人への給食(600人×4回転) |
| | | 駐車場 | | バスターミナル、留置・見学者駐車場等、仮設トイレ設置 |
| 多目的Gエリア | 多目的グラウンド | 成人サブキャンプ | A4~C7 | 約2,400人のキャンプ地事務所等テント、トイレ・シャワー設置 |
| 山口きらら博 記念公園エリア | スポーツ広場 | アリーナ | E3~F4 | 開閉会式、アリーナショー ステージ設置 |
| | 多目的ドーム フィールド・コア | ワールド(APR)センター | E5~F5 | 各国・県連盟の展示・事務所 展示パネル等設置 |
| | 多目的ドーム内 セミナールーム等 | 来賓接件所 ・レセプション会場 | E5~F5 | 来賓の接件、 各種レセプションの実施 |
| | 中央広場 | 見学者向けプログラム | F6~F7 | |
| | 中央駐車場 | プラザ(売店地域) | F8 | 記念品売店、 一般売店、一般食堂 |
| | 休憩広場 | 信仰奨励 | H8 | 信仰奨励プログラム実施 事務所・ブーステント設置 |
| | 休憩棟 | ジャンボリーホスピタル | I8 | 傷病者の診察、休憩 |
| | 月の海 | プログラム利用(水辺活動) | H5 | 水辺プログラム実施 |
| | 水泳プール | プログラム利用 | G9~10 | 水泳教室等 |
| | サッカー・ラグビー場 | プログラム利用 | D4~5 | サッカー大会等 |
| 公園内駐車場 | 駐車場 | | 大会関係者の駐車場 | |
| 公園整備エリア | 防災公園 | ハブβ | L15 | 広場、クリニック |
| | | サブキャンプE~F | | 約5千人のキャンプ地 事務所等テント、 トイレ・シャワー設置 |
| 自然観察公園 | きらら浜自然観察公園 | プログラム利用(自然探求) | | 自然探求 施設見学等 |
| 民間活用エリア | | ハブα | G15~H15 | 広場、クリニック |
| | | サブキャンプA~D | | 約8千人のキャンプ地 事務所等テント、 トイレ・シャワー設置 |
| 利用調整エリア | | ハブΓ・サブキャンプI~L | | 16NJ利用無し |
| | | プログラム利用(文化の交差点) | | 事務所・ブーステント、 仮設トイレ設置 |
| | | プログラム利用(科学の都市) | | 事務所・ブーステント設置 |
| | | プログラム利用(地球開発村) | | 事務所・ブーステント設置 |

※今後、利用する場所や内容が変更になることがあります

第16回日本ジャンボリー 炊事用燃料について

(2012.07.17 現在)

これまでの各社からの提案、比較実験等により参加隊の調理に使用する器具を「カセットこんろ」に、支給する炊事用燃料を「カセットガス」としました。

1. 炊事用燃料

全参加者に炊事用燃料（カセットガス）を支給する

1 各班にこんろ2台想定で、1日（夕食～昼食の3食）あたりカセットガス3本

1 部隊に1日あたり12本、8日間で96本（24kg相当）を予定

2. 器具

支給するカセットガスと同一メーカーのこんろを持参する

事前販売を希望する県連盟・参加隊に対して、ボーイスカウトエンタープライズにて事前販売を実施する
外国参加隊に対しては、1 各班あたり2台のカセットこんろを支給する

炊事用燃料（全参加隊）



イワタニカセットガス（オレンジ）

■商品コード：CB-250S-OR

■希望小売価格 367 円（税抜価格 350 円）

●本体サイズ／68（直径）×198（高さ）mm

●使用ガス／LPG（液化ブタン）

●内容量／250g

外国参加者支給品



カセットフー 風まる 2012年3月9日販売

風をさえぎり、安定した加熱性能をもつ、新開発！「ダブル風防ユニット」を搭載。（特許出願中）

商品コード：CB-KZ-1

メーカー希望小売価格：8,400円（税抜価格：8,000円）

市場価格：5,000円～6,000円

●本体サイズ／359（幅）×278（奥行）×115（高さ）mm

●ケースサイズ／370（幅）×278（奥行）×115（高さ）mm

●重量／約 2.2kg

●点火方式／圧電点火方式

●安全装置／圧力感知安全装置他

●最大発熱量：3.5kW(3,000kcal/h)

●ガス消費量／約 250g/h

3. 配給方法

会場到着日に1～2日分程度の燃料（カセットガス）を配給する

以降、使用済み容器と交換で新たな燃料（カセットガス）を配給する

各参加隊で保管する燃料は最小限にする

使用済み容器は大会として一括処理する

5. 駐車場について

駐車場については、会場内の駐車場が大規模な車輛台数の駐車能力を有するため、第一駐車場を大型バス一
次待機場所、見学者駐車場、大会運営スタッフ等の留置駐車場として利用します（会場図参照）。

6. 輸送に関する第1次輸送調査について

第16回日本ジャンボリーの集散時の輸送業務を円滑に運営するために、第一次輸送調査を実施します。

現時点で計画・準備している各参加隊の輸送方法について、後日各県連盟宛に発送する「第16回日本ジャンボリー（16NJ）第1次輸送調査表」に必要事項を記入の上、10月末日までに日本連盟事務局に回答をお願いすることを予定しています。

なお、会場周辺の環境と諸施設、道路混雑、近隣住民等に充分配慮する必要があるため、今後地元警察等関係各方面との調整・指導を受け、会場周辺の交通規制を実施させていただくこともありますので、予めご了承ください。

また、第1次輸送調査については、記入項目の確認のため「第16回日本ジャンボリー（16NJ）第1次輸送調査表（案）」を参考までに添付いたします。

○輸送調査実施日程

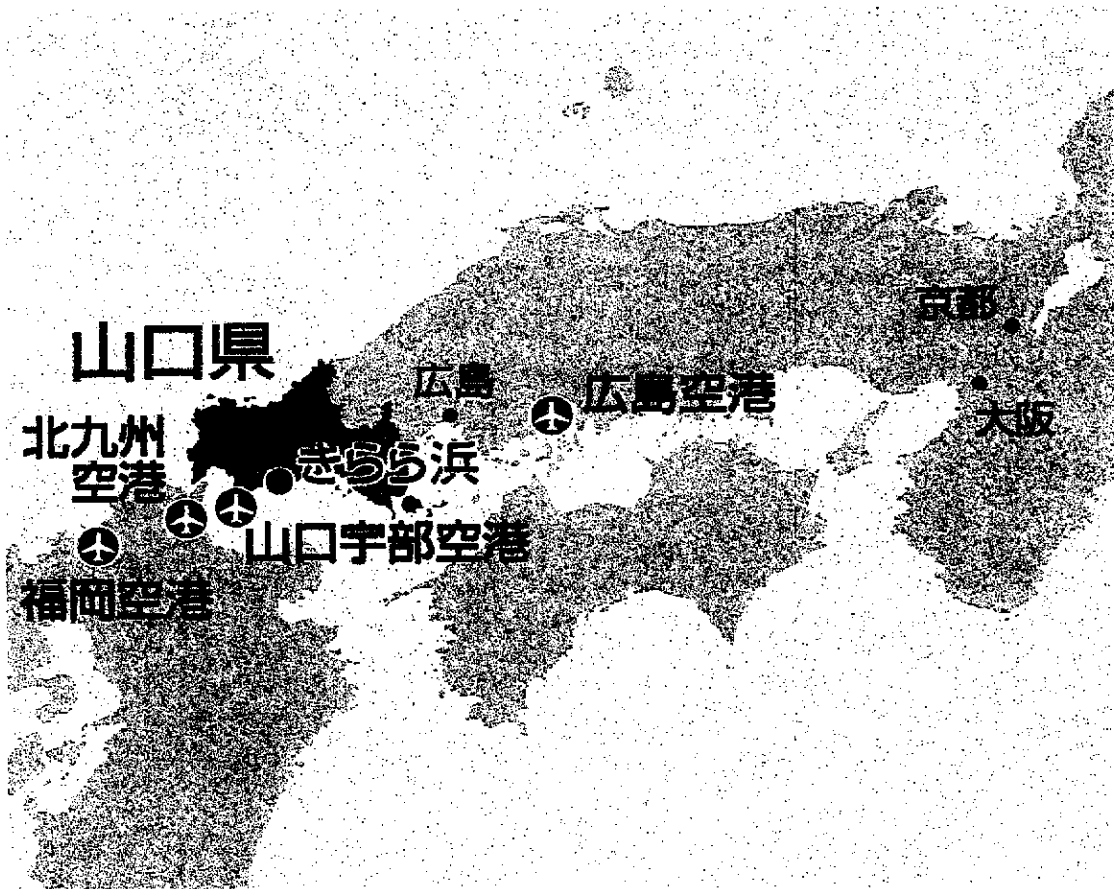
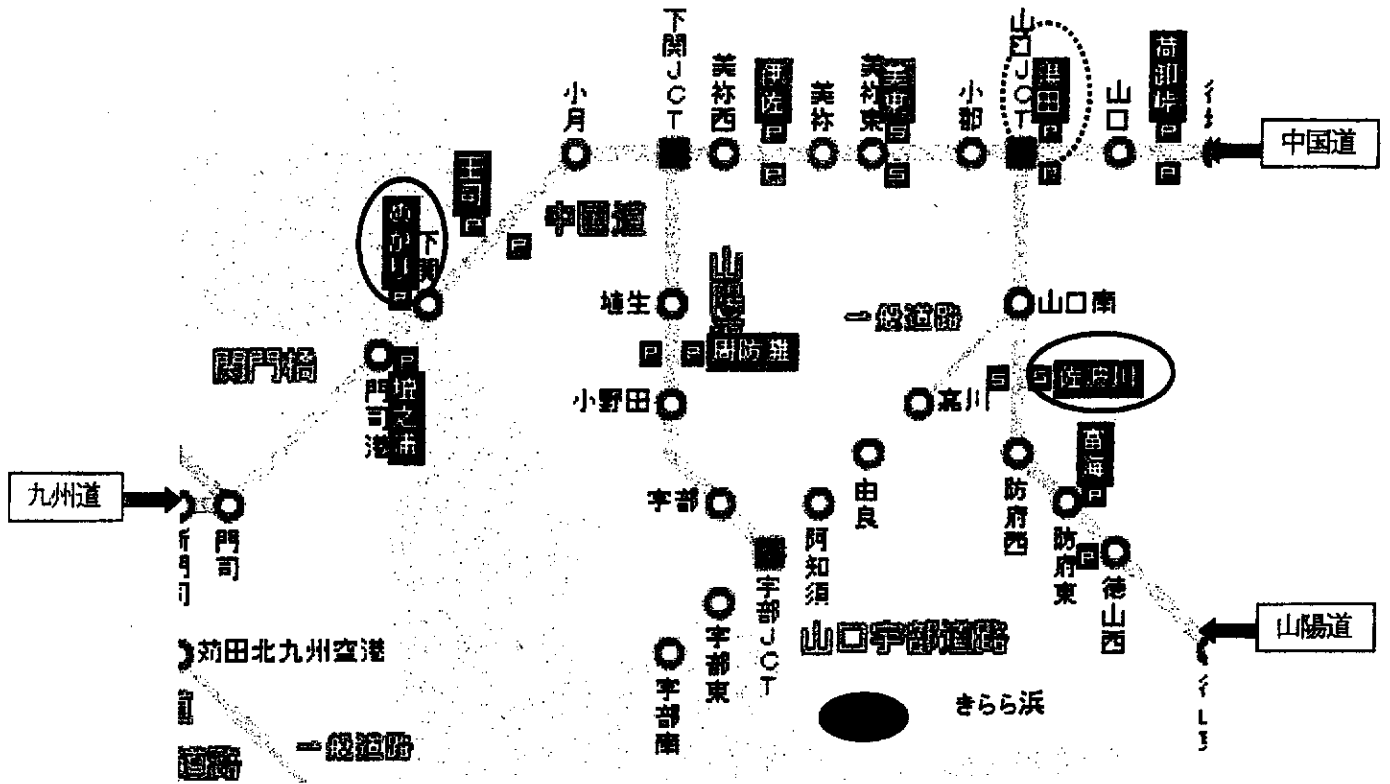
（平成24年）

- | | | |
|------------------------|-----------|-------------------|
| ○派遣団への交通事情、輸送調査の説明 | 7月28日・29日 | 16NJ派遣団長会議（第1回） |
| ○参加予定申し込み・第1次輸送調査の実施 | 8月 | （日本連盟回答締め切り10月末日） |
| ○調査内容の集計・分析、関係機関との事前協議 | 11月～12月 | |

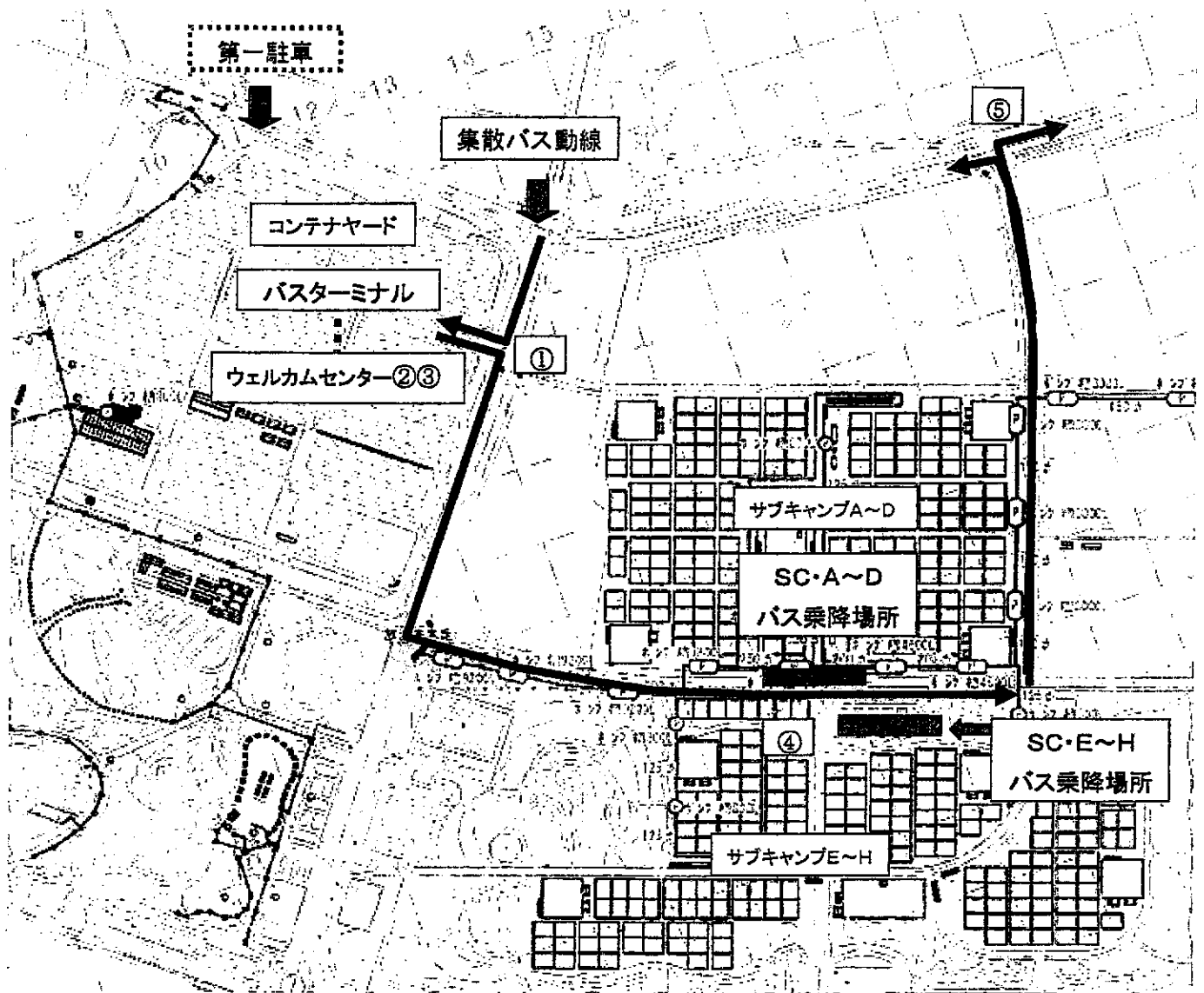
（平成25年）

- | | | |
|------------------------|-------|------------------|
| ○参加確定申し込み・第2次輸送調査の実施 | 1月 | （日本連盟回答締め切り3月末日） |
| ○調査内容の集計・分析、関係機関との事前協議 | 4月～5月 | |
| ○派遣団への入場・退場日時等の通知 | 6月 | |

○会場周辺地図

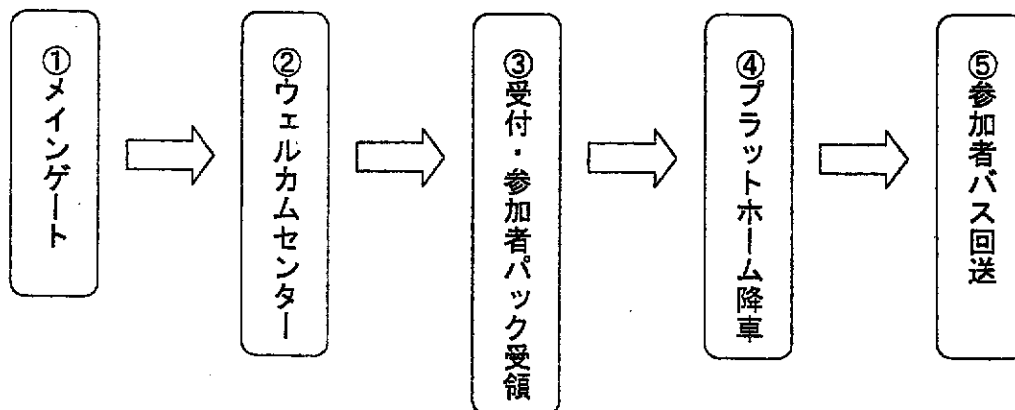


○会場図（会場内バス動線イメージ）



- ※16NJでは、サブキャンプA~DとサブキャンプE~Hの中の2つのサブキャンプの利用を予定。
- ※サブキャンプの配属により、参加者は2つのプラットホームの内のどちらかで降車。
- ※プラットホームの設置箇所と名称等は別途調整します。

○参加隊入退場フロー



第16回日本ジャンボリー（16NJ）第1次輸送計画調査表（案）

16NJ輸送責任者

1. 貴県連盟輸送責任者

氏名 _____ 16NJ役務 _____
連絡先住所 〒 _____
電 話 _____ FAX _____
携 帯 電 話 _____ eメール _____

16NJ輸送担当旅行会社（またはバス会社等）

1. 輸送担当旅行会社（またはバス会社等）名

今回の輸送を担当する旅行会社（またはバス会社等）があれば記入してください

会 社 名 _____ 担当者名 _____
連絡先住所 〒 _____
電 話 _____ FAX _____
携 帯 電 話 _____ eメール _____

派遣団輸送計画

○ 往 路

1. 県連盟出発予定日時 月 日 () 午前・午後 時
2. 会場到着予定日時 7月31日(水) 午前・午後 時 ※到着は7時～17時まで
3. 輸送方法（該当する手段・経路に○印をし、内容を記入してください）
() 全行程貸し切りバス _____人乗りバス _____台
() JR・バス利用 JR _____ 駅より _____人乗りバス _____台
() 航空機・バス利用 _____ 空港より _____人乗りバス _____台
() フェリー・バス利用 _____ 港より _____人乗りバス _____台
() その他（上記以外の輸送交通手段の場合、方法・経路等を記入してください）

○ 帰 路

4. 帰路輸送計画

- (1) 会場出発希望日時 8月 8日(木) 午前・午後 時
- (2) 輸送方法 往路輸送方法と 同 じ ・ 異 なる

※ 異なる場合は、輸送方法・経路を記入してください

奉仕者輸送計画

1. 県連盟での奉仕者輸送計画の予定 ある・ない

2. ある場合は

<全期間奉仕者用>

○ 往 路

1. 県連盟出発予定日時 7月__日 () 午前・午後__時

2. 会場到着予定日時 7月__日 () 午前・午後__時

(計画がある場合は7月29日(月)の12時までには到着してください)

3. 輸送方法 (該当する手段・経路に○印をし、内容を記入してください)

() 全行程貸し切りバス ____人乗りバス__台

() JR・航空機・フェリー＋貸し切りバス利用

_____(駅・空港・港)より__人乗りバス__台

() その他 (上記以外の輸送交通手段の場合、方法・経路等を記入してください)

○ 帰 路

4. 帰路輸送計画

(1) 会場出発希望日時 8月 9日 (金) 午前・午後__時

(2) 輸送方法 往路輸送方法と 同じ・異なる

※ 異なる場合は、輸送方法・経路を記入してください

奉仕者輸送計画 (交代参加) (計画のある県連盟のみご回答ください)

<前半奉仕者用>

○ 往 路

1. 県連盟出発予定日時 7月__日 () 午前・午後__時

2. 会場到着予定日時 7月29日(月) 午前・午後__時

3. 輸送方法 (該当する手段・経路に○印をし、内容を記入してください)

() 全行程貸し切りバス ____人乗りバス__台

() JR・航空機・フェリー＋貸し切りバス利用

_____(駅・空港・港)より__人乗りバス__台

() その他 (上記以外の輸送交通手段の場合、方法・経路等を記入してください)

○ 帰路

4. 帰路輸送計画

(1) 会場出発希望日時 8月 5日 (月) 午前・午後____時

(2) 輸送方法 往路輸送方法と 同じ ・ 異なる

※ 異なる場合は、輸送方法・経路を記入してください

<後半奉仕者用>

○ 往路

1. 県連盟出発予定日時 8月__日 () 午前・午後____時

2. 会場到着予定日時 8月 3日 (土) 午前・午後____時

3. 輸送方法 (該当する手段・経路に○印をし、内容を記入してください)

() 全行程貸し切りバス _____人乗りバス____台

() JR・航空機・フェリー＋貸し切りバス利用

_____ (駅・空港・港) より____人乗りバス____台

() その他 (上記以外の輸送交通手段の場合、方法・経路等を記入してください)

○ 帰路

4. 帰路輸送計画

(1) 会場出発希望日時 8月 9日 (金) 午前・午後____時

(2) 輸送方法 往路輸送方法と 同じ ・ 異なる

※ 異なる場合は、輸送方法・経路を記入ください

資器材 (派遣団・派遣隊装備品) 輸送計画

○ 往路

1. 輸送方法

() コンテナ

() トラック便 (____トン) ____台

() バスに搭載

() その他 (具体的に) _____

2. 県連盟出発予定日時 7月__日 () 午前・午後____時

3. 会場到着予定日時 7月__日 () 午前・午後____時

○ 復路

4. 会場搬出予定日時 8月__日 () 午前・午後____時

5. 輸送方法 往路輸送方法と 同じ ・ 異なる

※ 異なる場合は、輸送方法を記入してください

留め置き駐車場の必要有無

1. 全期間留め置きが必要が ある ・ ない
2. ある場合の車輛内訳 バス _____ 台 ・ ट्रাক _____ 台
 乗用車 _____ 台 ・ その他 (_____)
3. 交代参加の留め置きが必要が ある ・ ない
4. ある場合の車輛内訳
- <前半奉仕者用> バス _____ 台 ・ ट्रাক _____ 台
 乗用車 _____ 台 ・ その他 (_____)
- <後半奉仕者用> バス _____ 台 ・ ट्रাক _____ 台
 乗用車 _____ 台 ・ その他 (_____)

県連盟見学団の有無

1. 見学団来場の予定 ある ・ ない
2. ある場合は 会場訪問予定日時 8月__日 () 午前・午後__時
 会場退出予定日時 8月__日 () 午前・午後__時
3. 交通手段 (1) 全行程貸し切りバス _____人乗りバス _____台
 (2) JR・航空機・フェリー＋貸し切りバス利用
 _____ (駅・空港・港) より _____人乗りバス _____台
 (3) その他 _____
4. 会場周辺での宿泊予定 ある ・ ない
5. 宿泊予定先 _____

その他、輸送に関してのご意見ご要望がありましたらご記入ください
